

コマーシャルメッセージ

平成26年3月版

被災地の一日も早い復興を願いながら、できることを粛々と行なっていきたいと思えます。

平成25年1月から12月の新設住宅着工戸数は979,683戸で、前年比102.6%となりました。

12月の住宅着工は、持ち家、貸家、分譲住宅ともに増加したため、全体で増加となりました。

12月の新設着工戸数は89,578戸で、前年同月比18.0%の増加になりました。

16か月連続の増加です。

季節調整済み年率換算値は1,055,000戸です。

持家は31,858戸で前年同月比19.1%増、16ヶ月連続の増加。

貸し家は35,634戸で29.8%増、10か月連続の増加。

分譲住宅は21,902戸で2.1%増、3か月ぶりの増加。

内、マンションは9,736戸、7.4%減で、3か月連続の減少。

一戸建て住宅は12,026戸で、10.8%増。16か月連続の増加です。

地域別戸数は、首都圏対前年同月比10.6%増、中部圏11.5%増、その他地域は20.9%増です。

近畿圏は、対前年同月比33.1%増です。

近畿の府県別対前年同月比は、滋賀43.2%増、京都56.0%増、大阪30.9%増、兵庫32.7%増、奈良4.7%減、和歌山30.7%増でした。

東京は対前年同月比17.9%増、愛知は2.1%減です。

環境対策の点からも、木材は循環型の再生可能な資源です。燃やされない限り、木材は二酸化炭素を体内に固定し続けます。新たに植樹することにより、若木のCO2吸収量は活発化します。木材を使うこと自体は、決して森林破壊にはなりません。

仮設材に使用される木材も、単なるゴミはならず、木材チップなどに再利用されています。

木材を多くご利用いただけることが、環境を良くすることをご理解いただけたら幸いです。

木材、合板ともに、依然として価格上昇局面が続いていますが、前月に比べて緩やかになってきています。ただし、品薄感は相変わらずです。



NO. 1 仮設材について

仮設材全般に品薄で、価格上昇が続いています。

矢板は、国内最大手工場の生産能力の減少で、前月同様、納期未定の上、価格は段階を踏んで上昇し続けています。

横矢板既製品寸法の厚み27mm・30mm・35mmは在庫しています。

国産樹種で主に流通しているアイテムは上昇傾向で、依然品薄感があります。

ヌキ板、測量杭は、供給面で余裕のある状態ではありません。

型枠用合板も流通在庫が少なく、価格も上昇傾向です。

棧木は型枠用と仮囲い用の仮設棧(棧木2等品)をご用意しています。

リン木は桧・杉材や米杵材にてご用意(時期により在庫樹種は変わります)。

養生ベニヤ12mmをご用意しています(12mm x 900mm x 1,800mm)。

その他、養生ベニヤ用として、2.5mm・5.5mm・9mmの3尺x6尺を在庫しています。

両面フェースはラワンです。芯材はポプラです。

NONJAS品のため、住宅養生には適しません。厚みムラもあります。

NO. 2 米松梁材について

米材梁桁材も価格が上がっています。



NO. 3 外国産構造材について

ホワイトウッド材は反転上昇傾向です。流通在庫は少なく、特に4mものは商社在庫があまりありません。

ホワイトウッドEW材も同様です。

赤松材は強含み傾向です。

米松材も値上がりで品薄です。

引き続き商社筋は輸入量を控えています、需要面から相場はどうか不確かです。

NO. 4 国産構造材について

品薄感は依然としてありますが、前月より改善の兆しがあります。

国産材を使用する意義は、国内山林の環境保護・国内林業の活性化・自給率UP・花粉症対策だと思います。

そして、国産材の域に留まらず、兵庫県産材の動きのように、地域材を積極的に使っていこうという気運もあります。

知名度は低いですが、「大阪府内産材」にも同じ動きが官公庁関係を中心に出ています。

弊社は大阪府内産材を積極的にPRしています。

特に大阪府の特徴でもある桧材の流通を目指しています。

公共建築物等木材利用促進法の成立により、国産材は脚光を浴びています。

NO. 5 造作材 米杵無節・上小節材(粗木)について

別注品対応をしています。

NO. 6 無垢材について

建材造作材の一般住宅への定番化により、無垢材利用がかなり減っています。

樹種を問わず、原木・製材品化されたもの共に、入荷量が少なくなっています。

NO. 7 積層材について

積層材既製品(フリー板)の取り扱いアイテムを増やしています。

NO. 8 内外装下地材について(ベニヤ・ボード等)

合板はラワン・針葉樹ともに流通在庫が依然として少ない状況です。

引き続きラワン、針葉樹ともに合板関係は値上がりですが、上昇幅は緩やかになっています。

NO. 9 内装仕上げ材について(建材メーカー商品等)

パナソニックと特約代理店契約を結んでいます。

これまで以上に販売強化に努めています。



NO. 10 断熱材関係商品について

グラスウールはまだ、平常には戻っていません。

小ロット梱包のポリウール密度16K、在庫あります。M2数の少ないリフォーム工事に最適です。

NO. 11 養生材について

養生材の販売強化に努めています。

円安基調で、輸入製品や輸入原料に依存する製品は値上がりしています。

NO. 12 接着剤について

今のところ、大きな状況の変化はありません。

NO. 13 金物・現場備品について

販売強化に努めています。

円安基調で、輸入製品や輸入原料に依存する製品は値上がりしています。

NO. 14 加工費について

加工に強い会社を目指しています。



NO. 15 各建材メーカー商品について

関東方面の大雪の影響で、各メーカーの工場設備に災害があり生産能力が低下しているうえ、駆け込み需要で新規注文が多くなっています。

そのため、特にシステムキッチン・ユニットバスについて、3月納入が困難なメーカーが多く、対応できるメーカーにオーダーが集中する可能性が大きくなります。

その結果、どのメーカーも対応できない状況になるかもしれません。

☆ 電材品も扱っています。

☆ 木材利用ポイント制度、延長されます。

9月30日まで制度が延長されました。

新規業者登録(施工・供給業者共)が始まりました。

登録がまだのお会社は、ぜひ、お早めにご対処ください。

新たに、対象樹種に米国产米松材も含まれるようになりました。

新築やリフォームの時、木製品購入で使えます。

☆ “たろうの店 きごころ” オープンしています。

地域密着サービスサロンです。

気軽に立ち寄っていただける雰囲気大切にしています。

テーマごとにサロンを開催中です。

5月25日(日)、「きごころサロンまつり」開催します。!



地産地消 — 地域材

大阪府内産を始め、京都府内産・市内産など地域材活用を推進しています。

国産材・地域材志向のお施主様のお役に立ちます。

地域と自社の活性化のために活動しています。

「おおさか木の家づくり隊」は、大阪の木を使った、良質な住まいづくりを目指しています。



優しさ — 福祉

健康グッズ・福祉用具・介護用品を販売しています。

福祉・介護リフォームや新築の時など、是非、ご提案させてください。

個人的にご購入検討の時なども、是非、お声がけください。

介護保険適用特定福祉用具販売事業者になりました。

介護保険適用事業所 たろうの店 きごころ

「特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売」 事業所番号2772701435





安らぎ — 耐震

耐震診断・耐震相談など、お声がけください。

耐震リフォームの時など、ご相談ください。

木材業界と京都大学が編み出した耐震工法「壁柱」を推進しています。



思いやり — エコロジー

エコライフ・エコ商品のご提案をします。

エコリフォームの時など、ご相談ください。

エコライフのためのアドバイス、太陽光発電などのエコ商品を販売しています。

日本には日本の木を、大阪には大阪の木を、と願って、
優しさと安らぎと思いやりをテーマに
地域の福祉や環境に貢献できるような、
まじめな会社と言われたたい。



ご用命よろしくお願い申し上げます。

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9

TEL 06-6552-0781

FAX 06-6552-0784

